

平成 23 年 12 月 18 日
組織行動分科会 加藤

組織行動分科会議事録

日 時：平成 23 年 12 月 18 日（日）14:00 ～ 17:00

場 所：(株)ゆたか技術士事務所 打合せスペース

出席者：石橋 明、大橋 光三、酒井 雄二、中村 弘、田辺 和光、河東 康一、
高杉 和徳、中田 邦臣、茂木 真、高橋 祐一郎、尾崎 忠義、加藤 豊、(記)
情報交換会：上記記載者＋牧野 義司、近藤 哲生

議 題

- 1、失敗学会年次大会の報告、反省
- 2、1 月以降の活動
 - 1) 定例会の在り方、合宿の開催検討
 - 2) 活動内容報告書の作成方針
 - 3) 大学等公開講座の今後の対応（江戸川大学など）
- 3、各自話題提供
- 4、その他

議題討議内容「討議・検討内容」

- 1、 失敗学会年次大会の報告、反省
 - 発表が印刷用のパワーポイント資料であった、またパワーポイントのアニメーション機能が動かなかったため途中でパソコンを交換発表した、今後パソコン内データの確認が必要。
 - 分科会の報告より各個人の内容の発表が良いのではないかとの意見もあった。
 - 年次大会での失敗体験 NW のアンケートが失敗学会ホームページに掲載されているので失敗体験 NW メンバーは確認できる。
- 2、 1 月以降の活動 確認
 - 1) 定例会の在り方、合宿開催検討
 - 定例会の在り方
 - ① 会合は従来通り月一回で進める。
 - ② 平日の夜に行う案もある、場所の確保の再検討が必要。
 - ・休日に行う日と平日に行う日を設けてはどうかとの意見があり、3 月までは従来通りとし、4 月以降に関して調整する。
 - ・土日以外は、現在の四ツ谷の事務所は使用しにくいので、場所の確保が必要

・日比谷図書館、東京中小企業 振興公社秋葉原庁舎) 各区の区民館、公民館
大学のサテライトなどが考えられる。

➤ 合宿開催に関して

- ① 今年度も昨年と同じ場所（あたみ小嵐荘）で、同様の方式、時間で開催する。
- ② 日程は第一候補として5月26日（土）27日（日）、尾崎氏に手配いただく。

2) 活動内容報告書の作成方針

- ① 4月までに報告書の内容に関して大筋（章だて）を纏める、その結果を踏まえて、合宿にてみんなで議論する。章だて（目次）は、大橋氏に担当願う。
- ② 各章の内容のまとめは担当者が行う。

3) 大学等公開講座の今後の対応（江戸川大学など）

① 江戸川大学の公開講座

➤ 濱田教授より

今後の失敗学講座は、来年10月以降の開講を目指して、来年5月いっぱいを目途にラインナップをご検討いただきたいとの事。回数は4回シリーズ程度。

回数が増えると受講料が高くなるため、集客に影響する。

取り上げる事例は、なるべく多くの方がご存知の事例か、興味をひかれるタイトルのものを期待いたしますとの事。

➤ 今回の秋の講座は出席者が少なかった

➤ 開催時間を再検討、平日の昼間は難しい、18:30からが良いのでは。

➤ 東日本大震災で中止された未発表の講座をどうするか、以下の3件については濱田先生と調整する。

イノベーションはなぜつぶされるのか～商品開発の失敗～

講師 茂木真

セラチア菌院内感染事故の必然（→ セラチア菌をはずしては？）

～CRMの視点で医療事故を見つめなおす～

講師 川路明人

宮崎口蹄疫問題でわかった農業現場の危機管理

講師 牧野義司

② その他の公開講座に関して

➤ 組織行動分科会活動の発信場として公開講座を今後も進めて行く。

➤ 中田さんが中心となって活動されている、LCB研究会の場とのコラボレーションも良いのではとの意見が出された。

3、各自話題提供

- 5年間の活動が終了し、3月25日に危険学プロジェクト総会が開催される。
「バージョンⅡを進めることになっている。」
- 第8回社会技術研究シンポジウム
12月26日の中間報告を踏まえて（福島第一原発事故と社会技術）
東大工学部2号館 1月28日（土） 10：00～18：00
- 関西大学 河田恵昭教授 新聞記事
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/common/pdf/toukyousimpo_keisaikiji.pdf

4、その他

・次回以降の定例会

場所：(株)ゆたか技術士事務所 打ち合わせスペース

定例会 開催予定 2012年1月29日（日）14：00

2月19日（日）14：00

※LCB研究会 第8回シンポジウム 2012年3月10日（土）13：00～

東京工業大学 田町キャンパス

・次回定例会活動内容

医療が安全であるために –NDPが進める医療安全の取り組み–

VOL. 1 医療安全の基本的な考え方（DVD：56分）鑑賞 議論を行う

・図書紹介他

① 実務に役立つ技術倫理

公益社団法人 日本技術士会 技術図書刊行会 オーム社 3,200円＋税

② 走り始めた技術者倫理教育 特集号『工学教育』2006.1、vol.54 no.1

社団法人日本工学教育協会

③ クライシス・コミュニケーションの考え方、その理論と実践

宇於崎 裕美著

経営書院 1,260円＋税

④ 個人と組織のリスクセンスを鍛える 「LCB式組織の健康診断」法の活用

リスクセンス研究会 編書

大空社 2,000円＋税

⑤ 東日本大震災 自衛隊救援活動日誌 「東北地方太平洋沖地震の現場から」

須藤 彰著

扶桑社 952円＋税

・情報交換会

定例会終了後（17：15～20：00）、嘉賓（かひん）にて開催。

以上